

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【公表番号】特表2017-509697(P2017-509697A)

【公表日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2016-571450(P2016-571450)

【国際特許分類】

A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	8/73	(2006.01)
A 6 1 Q	1/00	(2006.01)
A 6 1 Q	5/00	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/366	(2006.01)
A 6 1 K	31/357	(2006.01)
A 6 1 P	33/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/4365	(2006.01)
A 6 1 K	31/37	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
C 0 8 B	31/00	(2006.01)
C 0 8 B	31/12	(2006.01)
C 0 8 B	31/04	(2006.01)
A 0 1 P	3/00	(2006.01)
A 0 1 N	33/12	(2006.01)
A 2 3 L	33/125	(2016.01)
A 2 3 L	33/115	(2016.01)
A 2 3 L	33/11	(2016.01)
A 2 3 L	33/17	(2016.01)
C 0 8 L	3/04	(2006.01)
C 0 8 K	5/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	47/36
A 6 1 K	9/08
A 6 1 K	9/14
A 6 1 K	9/10
A 6 1 K	8/73
A 6 1 Q	1/00
A 6 1 Q	5/00
A 6 1 Q	19/00
A 6 1 K	31/366
A 6 1 K	31/357
A 6 1 P	33/06
A 6 1 P	35/00
A 6 1 K	31/4365
A 6 1 K	31/37

A 6 1 P	7/02
C 0 8 B	31/00
C 0 8 B	31/12
C 0 8 B	31/04
A 0 1 P	3/00
A 0 1 N	33/12
A 2 3 L	33/125
A 2 3 L	33/115
A 2 3 L	33/11
A 2 3 L	33/17
C 0 8 L	3/04
C 0 8 K	5/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月23日(2018.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- 一重らせんV構造を有し、少なくとも0.25の置換度を有する官能化デンプン、および

- 前記官能化デンプンと包接錯体を形成する、難水溶性又は水不溶性の生物活性剤、ここで、前記生物活性剤は一重らせんV構造を有する前記官能化デンプンの前記らせんV構造内にある、

を含む、粉末組成物。

【請求項2】

前記置換度が約0.25～約1.5、または約0.4～約0.7である、請求項1に記載の粉末組成物。

【請求項3】

前記一重らせんV構造を有する官能化デンプンが、カルボキシル化デンプン、ヒドロキシプロピル化デンプン、アセチル化デンプン、ヒドロキシプロピルメチル化デンプン、アミン化デンプン、アルキル化デンプン、アシル化デンプン、酸変性デンプン、オクテニル化デンプン、プレゼラチン化デンプン、またはこれらの組み合わせである、請求項1または2に記載の粉末組成物。

【請求項4】

前記カルボキシル化デンプンが、カルボキシメチルデンプン、カルボキシエチルデンプン、スクシニルデンプン、オクテニルスクシニルデンプン、アクリロイルデンプン、アセチルデンプンまたはこれらの組み合わせである、請求項3に記載の粉末組成物。

【請求項5】

前記一重らせんV構造を有する官能化デンプンが、天然もしくは非天然デンプン、またはこれらの組み合わせから調製される、請求項1に記載の粉末組成物。

【請求項6】

前記天然デンプンが、トウモロコシデンプン、ジャガイモデンプン、エンドウマメデンプン、コメデンプン、マメデンプン、コムギデンプン、またはこれらの組み合わせである、請求項5に記載の粉末組成物。

【請求項7】

前記非天然デンプンが、カルボキシメチルデンプン、ヒドロキシプロピルデンプン、ア

セチルデンプン、ヒドロキシプロピルメチルデンプン、アミンデンプン、アルキルデンプン、アシルデンプン、酸変性デンプン、オクテニルスクシニルデンプン、プレゼラチン化デンプン、架橋デンプン、またはこれらの組み合わせである、請求項5に記載の粉末組成物。

【請求項 8】

前記非天然デンプンが、カルボキシメチルデンプン、カルボキシエチルカルボキシメチルデンプン、カルボキシメチルヒドロキシプロピルデンプン、カルボキシメチルヒドロキシプロピルメチルデンプン、カルボキシメチルアセチルデンプン、カルボキシメチルオクテニルスクシニルデンプン、カルボキシメチルアクリロイルデンプン、カルボキシメチルアシルデンプン、カルボキシメチルアルキルデンプン、カルボキシメチル架橋デンプン、またはこれらの組み合わせである、請求項5に記載の粉末組成物。

【請求項 9】

前記一重らせんV構造を有する官能化デンプンが、部分加水分解デンプンから調製される、請求項1～8のいずれか1項に記載の粉末組成物。

【請求項 10】

前記非天然デンプンが、部分加水分解非天然デンプンである、請求項7または8に記載の粉末組成物。

【請求項 11】

前記生物活性剤が、単純脂肪酸、脂質化合物、複合脂質、抗生物質、タンパク質、ペプチド、医薬的に活性な成分、またはこれらの組み合わせである、請求項1～10のいずれか1項に記載の粉末組成物。

【請求項 12】

前記単純脂肪酸が、-リノレン酸、エイコサペンタエン酸、ドコサヘキサエン酸、またはこれらの組み合わせである、請求項11に記載の粉末組成物。

【請求項 13】

前記複合脂質が、グリセリド、カロテノイド、テルペノイド、イソプレノイド、ウィタノライド、コレステロール、フィトステロール、脂溶性ビタミン、スチルベノイド、またはこれらの組み合わせである、請求項11に記載の粉末組成物。

【請求項 14】

前記グリセリドが、オメガ3モノグリセリド、オメガ3ジグリセリド、オメガ3トリグリセリド、またはこれらの組み合わせである、請求項13に記載の粉末組成物。

【請求項 15】

前記一重らせんV構造を有する官能化デンプンおよび前記生物活性剤の比が、それぞれ約1.2：1～1：2である、請求項1～14のいずれか1項に記載の粉末組成物。

【請求項 16】

前記粉末組成物が、水性媒体に可溶性である、請求項1～15のいずれか1項に記載の粉末組成物。

【請求項 17】

前記粉末組成物が、水性媒体に分散性である、請求項1～15のいずれか1項に記載の粉末組成物。

【請求項 18】

請求項1～15のいずれか1項に記載の粉末組成物、および
医薬的に許容可能な担体
を含む医薬組成物。

【請求項 19】

前記生物活性剤が、アルテミシニンまたはその誘導体である、請求項18に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

前記生物活性剤がアルテミシニンである、請求項1に記載の粉末組成物の使用、および
それを必要とする対象におけるマラリアの治療のための請求項19に記載の医薬組成物

◦